

ファサード保存あれこれ

久保田 淳司 ディーオーケープランニング 神戸LAB 代表／一級建築士／インテリアコーディネーター

阪神淡路大震災から30年を迎え哀悼の思いと共に愛着のあった多くの建物が失われたことに改めて残念な思いを抱いています。ただその後も、地震に耐えた歴史的建築物が経済合理性のもと失われました。我々も保存活動に取り組むことがあります、その都度難しさを感じます。建物所有者にとって資産や物

的資本である以上、保存により得られる対価がなければ、ましてや代償を払ってまで公益に資することができない、となってしまうます。そこで折衷案的に古い建物の外観を残して建て替える方法が見られるようになりました。「ファサード保存」と言われる手法で建物の更新と歴史的価値や街並み保存との両立

を図ったものです。それらを細かく見ると、古い建物の外観を壊さずそのまま残したもの、一度解体して再構築したもの、曳家して残したもの、全く新しい材料で再現したものなど様々です。今回は神戸にある「ファサード保存」された建物を見てみます。



神戸地方裁判所庁舎
ハーフミラーのカーテンウォールで増築部分の存在を消した、草創期のひとつ。



旧三菱銀行三宮支店
神戸朝日ビルに隣接する三菱銀行はファサード保存とならず。柱頭のオーダーだけが保存される。



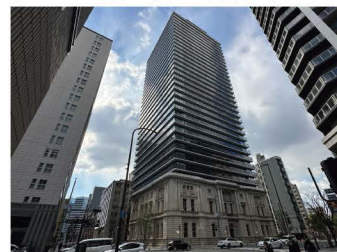
みなと元町駅（旧第一銀行神戸支店）
同じ設計者による東京駅舎はこちらの6年後に完成。赤レンガ部分と後ろの建物は別々。



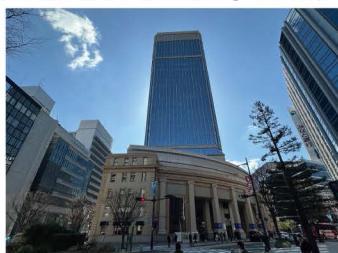
海岸ビル（旧三井物産神戸支店）
海岸通りの町並みを守る。損保ジャパン横浜馬車道ビルに続く「腰巻ビル」の原型。



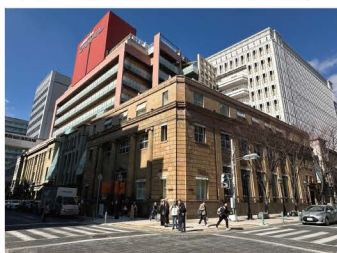
神戸税関本館
狭義ではファサード保存と言い難いが増築部分のデザインを調和させたとした好事例。



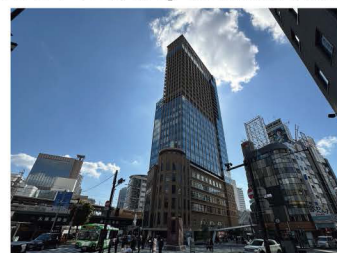
ザ・パークハウス神戸タワー（旧三菱銀行神戸支店）
珍しいマンションでの事例。ファサードに使われていた石材を「生け捕り」し忠実に再構築された



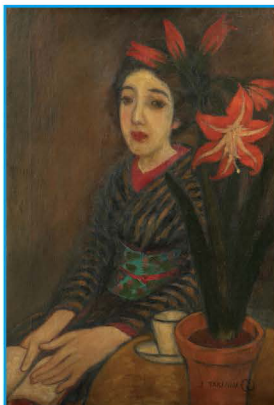
神戸朝日ビル（旧神戸証券取引所）
古い建物の形だけを新たに再現。高層部と低層部との調和に海岸ビルからの進歩を感じる。



居留地38番館（旧シティバンク神戸支店）
神戸税関本館と同様。震災時、近隣の大興ビルは被害が小さく見えたがこちらは解体された。



阪急神戸三宮駅
一度撤去したファサードを再現。石造りの建物に比べ再現が容易。第一勧銀神戸支店ビルは失われた。



《アマリス》1919(大正8)年頃 油彩、カンヴァス 夢二郷土美術館蔵

生誕140年 YUMEJI展
大正浪漫と新しい世界

会場:あべのハルカス美術館
(あべのハルカス16階)
会期:2025年1月18日(土)～3月16日(日)
※会期中無休
時間:火～金/10:00～20:00
月土日祝/10:00～18:00
※入館は閉館30分前まで
問合せ先:06-4399-9050(あべのハルカス美術館)

モネ&フレンズ・アライブ

会場:デザイン・クリエイティブセンター神戸
1F KIITOホール (神戸市中央区小野浜町1-4)



会期:2025年1月4日(土)～3月30日(日)
休館日:月曜日(祝休日の場合は翌日)
1月9日(木)
開館時間:平日 11:00～18:00
土日祝 10:00～18:00
※最終入場は閉館60分前まで
問合せ先:キョードーインフォメーション
0570-200-888

©Photo: Grande Experiences

読者プレゼント

観覧ご希望の方は、住所・氏名・年齢・本紙への一言を添え、本紙編集部までハガキでお申し込みください。先着順で3名の方にペア招待券をお送りします！